



## 令和2年度第1回 JASDI フォーラム (WEB 開催) 今、改めて臨床における副作用を考える

近年、新医薬品の審査は迅速化し、市販後の安全性への対応の重要性が高まっています。そのため、医薬品の副作用リスクを把握、評価したうえで適正な薬物療法を行い、副作用のモニタリングや対応を適切に行うことが求められます。また、医薬関係者には、臨床現場で発生した医薬品の副作用またはその疑いに関する情報を「医薬品・医療機器等安全性情報報告制度」に基づいて厚生労働省へ報告する義務が課せられています。「医薬関係者の副作用報告ガイダンス骨子」では、医療機関内で発生した事例の発生時までの情報及び当局等に副作用報告する情報を一元的に集約管理する管理者を医療機関内で定めておくことが望ましいとされ、DI 担当薬剤師にその役割が期待されています。これらのことから、患者に生じた有害事象と被疑薬との因果関係の考察や対応、そして副作用の一元管理に薬剤師が主体的に関わることが重要です。そこで本フォーラムでは、『今、改めて臨床における副作用を考える』をテーマとして、副作用に関する現状の課題と今後の在り方について、様々な視点から議論したいと思います。

日 時: 令和3年1月24日(日) 13:30~16:45 (ログイン開始 13:00 から)  
場 所: ZOOM による Web 形式  
主 催: 日本医薬品情報学会 (JASDI)

〔プログラム〕 (演題名は全て仮題です。)

- 13:30~13:35 開会挨拶 (一社) 日本医薬品情報学会 理事長 林 昌洋  
座長: (一社) 日本医薬品情報学会フォーラム委員会 委員 佐村 優
- 13:35~14:00 講演: 「医療現場に求められる副作用への対応(仮)」  
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 医薬品安全対策第一部 高足葉子
- 14:00~14:25 講演: 「それって副作用? 副作用の因果関係評価(仮)」  
東京薬科大学 薬学部 川口 崇
- 14:25~14:50 講演: 「医療現場における副作用情報の活用(仮)」  
宮城県立がんセンター 薬剤部 土屋雅美
- 休憩(14:50~15:05) —
- 15:05~15:30 講演: 「副作用情報の一元管理と共有・報告体制について(仮)」  
川崎市立多摩病院 薬剤部 坪谷綾子
- 15:30~15:55 講演: 「副作用回避に向けたシステム構築と薬薬連携(仮)」  
滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部 國津侑貴  
座長: (一社) 日本医薬品情報学会フォーラム委員会 委員 大野能之
- 15:55~16:35 総合討論  
16:35~16:45 まとめ・閉会の挨拶 (一社) 日本医薬品情報学会フォーラム委員会 委員長 舟越亮寛

フォーラム参加費: 会員 3,000 円、非会員 5,000 円、学生 1,000 円(事務局にて入金を確認後、システムからアクセス情報・抄録集(アクセスコード、パスワード、アクセス先のリンク)をお送りいたします)  
申込方法: 日本医薬品情報学会のホームページよりお申し込みください(<http://www.jasdi.jp/>)。  
申し込み締め切り: 令和3年1月12日(火) ただし、定員に達した場合は途中で締切ります。

本フォーラムは、「医薬品情報専門薬剤師」の認定及び更新のため、日本医薬品情報学会が指定する講演会です。本フォーラム 1 回の出席、「受講証明書」をもって認定単位「5 単位」が、また「受講証明書と指定の研修レポートの提出(証明書)」をもって更新認定単位「5 単位」が取得できます。研修レポートの提出など詳細は、JASDI ホームページでご確認下さい。詳細は日本医薬品情報学会のホームページをご確認ください(<http://www.jasdi.jp/>)。希望者には「日病薬病院薬学認定研修単位シール(申請中)」を配付予定です。